

北大ピアノクラブ
オータムコンサート



2025年10月15日(水)
17:00 開場 17:30 開演
クラーク会館

北大ピアノクラブ主催

ご挨拶

本日はお忙しい中、北大ピアノクラブのオータムコンサートにお越しいただき、誠にありがとうございます。北大ピアノクラブはピアノ好きな部員が集まるサークルで、週1回の例会と年数回の定期コンサートを通じて交流しています。後期が始まりましたが、コンサートや例会等たくさんの活動を予定しております。少しでも興味のある方は、ぜひ例会等にお越しください。いつでも歓迎しています。

このオータムコンサートは普段よりポップス曲の多いコンサートです。誰もが良く知る有名曲からあまり聞きなじみのない曲まで幅広いプログラムとなりました。どうぞ最後までゆっくりとお楽しみください。

最後になりましたが、本日の開催にあたり、ご支援ご協力いただきました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

北大ピアノクラブ 35代部長 渡邊晃心

お客様へ

開演に先立ちまして皆様にお願いがございます。

- ・会場内でのご飲食、ご喫煙はご遠慮ください。
- ・携帯電話や時計のアラームなど音の出る機器は、あらかじめ電源をお切りください。
- ・演奏者の許可のない録音・録画・写真撮影はご遠慮ください。
- ・演奏中の移動や会場の出入りはご遠慮ください。やむを得ず会場の外に出られる際は、係の者の指示に従ってください。
- ・会場内では、個人の判断により必要に応じたマスクの着脱をお願い致します。

全てのお客様に快適に演奏をお楽しみいただけますよう、ご協力をお願い致します

Program

【第1部】

1. ドビュッシー「ベルガマスク組曲 第1曲『プレリュード』
第2曲『メヌエット』第3曲『月の光』第4曲『パスピエ』」
医学部医学科 2年 清水陽介(しみずようすけ)
2. モーツアルト「幻想曲 ハ短調 K. 475」
法学部 4年 初谷実優(はつやみゆう)

【第2部】

3. ドヴォルザーク「8つのユモレスク Op. 101 B. 187 より 第7番」
Arcade Fire & Owen Pallett「映画『Her』より Photograph」
理学部生物科学科 3年 濱野健太朗(はまのけんたろう)
4. Alan Menken, Timothy Miles Bindon Rice「A Whole New World」
文学部 2年 藤原暁希(ふじわらこうき)
5. V. K「Pure White」
総合理系 1年 青山楓花(あおやまふうか)
6. King Gnu「SPECIALZ」
総合理系 1年 藤井規碩(ふじいきせき)
7. ヨルシカ「夜行」
農学部生物資源科学科 2年 渡邊晃心(わたなべあきみ)

【第3部】

8. シューマン「幻想小曲集 飛翔 op. 12-2」
工学部機械知能工学科 2年 山村早也人(やまむらはやと)
9. シューマン「子供の情景『トロイメライ』へ長調 Op. 15-7」
文学部 3年 名取泰河(なとりたいが)
10. ラヴェル「『クープランの墓』より 5. メヌエット」
工学部環境社会工学科 4年 浜口怜子(はまぐちれいこ)
11. バッハ「パルティータ 第1番 変ロ長調『プレリュード』」
歯学部 5年 青山翔(あおやましよう)
12. バッハ「パルティータ 5番」
農学部生物機能化学科 2年 宮入汐里(みやいりしおり)
13. ショパン「夜想曲 第2番 変ホ長調 Op. 9-2」
法科大学院 2年 青木惇(あおきじゅん)

【第4部】

14. 坂本龍一「energy flow」
医学部医学科 3年 棟方瑠南(むなかたるな)
15. すぎやまこういち「ドラゴンクエスト5 より『大魔王』」
理学院 2年 笹木元太(ささきげんた)
16. 永井権太 岩田恭明 David Wise 坂本英城「ニンテンドーメドレー」
医学部保健学科 3年 吉田彩花(よしだあやか)
工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)
17. 斎藤圭土「恋文」
農学部生物機能化学科 2年 宮入汐里(みやいりしおり)
農学部生物資源科学科 2年 渡邊晃心(わたなべあきみ)

Introduction

1. ドビュッシー「ベルガマスク組曲 第1曲『プレリュード』
第2曲『メヌエット』第3曲『月の光』第4曲『パスピエ』」
医学部医学科 2年 清水陽介(しみずようすけ)

＜曲紹介＞

ベルガマスク組曲はドビュッシーの初期の作品で、1890年頃に作曲され、改訂を経て1905年に出版されました。題名の「ベルガマスク」は、イタリアのベルガモ地方に由来しているとされ、古風で典雅なイメージのタイトルとなっています。

第1曲前奏曲は堂々とした主題で幕を開け、明るく華やかな雰囲気の中に繊細な響きが漂います。

第2曲メヌエットは古風な舞曲の形式を借りながらも、柔らかく夢見るような旋律が印象的です。

第3曲月の光は組曲中でも特に有名で、静かに流れる旋律が月明かりのように幻想的な光を放ちます。

第4曲パスピエは軽快でリズミカルな舞曲で、作品全体を明るく締めくくります。

＜他己紹介＞

ようちやむマジ卽すぎてヤバみだから紹介しちゃうわ wwww

まずさー、見た目イケてて、頭もマジいいんよ wwww

ようちやむのいってる医学部医学科ってちょ一むづいらしいじゃん？？

マジ脳内富岳疑惑爆誕なんやけど wwww

んでき～、そんな超絶頭脳のようちやむが、まさかのドイツ語の単位落として留年で www ウケる wwww

ポンコツ尊すぎ wwww

マジチョベリグなんだけど♡♡♡

んでー、登山ガチ勢とかアクティブすぎでしぬ www

天才イケメンでスタミナもあるとかマジ神 wwww

しかもさ～～～、ようちやむって末っ子気質爆発で、超～甘えんぽクンなんよ wwww

「たいぽよ～構って～♪」とかゆわれたら
うちもつい「はーい♡」ってゆっちゃうっていう wwww
マジギャル的にはいっっちはん燃えるやつ♡♡♡

それでおいて～、ピアノ弾いてる時のようにちやむマジ弔すぎんのよ wwww
普段は抜けてるようちやむが真剣に弾いてるのマジかっこよすぎ♡♡♡♡♡
超絶ギャップ萌え wwww もう呼吸しんどいって wwwwwww

マジさ～、アクティブで体力あるのに、ピアノ弾けて天才でイケメンで甘えんぽって、てんこ盛りすぎて富士山できちゃう wwwwwww

ってことでえ～、そんなようちやむが今日はどびゅっし一弾いてくれるらしい♡♡♡♡♡

マジこれ読んでから演奏聞いてみ？愛しすぎて細胞レベルで恋しちゃうと
おもう wwww

2. モーツアルト「幻想曲 ハ短調 K. 475」 法学部 4年 初谷実優(はつやみゆう)

<曲紹介>

この曲は、ピアノソナタ第14番ハ短調と共に1785年に出版されました。ソナタの前奏のために作曲されたと言われています。現在でも、幻想曲とピアノソナタ第14番は1セットとして扱われることが多いですが、モーツアルト自身が幻想曲のみを単独で演奏することもあったため、これらは独立した2つの作品とも考えられています。

重苦しいハ短調の中に時おり現れる、モーツアルトらしい軽やかなメロディーがお気に入りポイントです。

<自己紹介>

学部4年の初谷です。最近はショパンを弾くことが多かったので、久々にモーツアルトをステージで演奏することが出来てわくわくしています。頑張ります！

3. ドヴォルザーク 「8つのユモレスク Op. 101 B. 187 より 第7番」

Arcade Fire & Owen Pallett 「映画『Her』より Photograph」

理学部生物科学科 3年 濱野健太朗(はまのけんたろう)

＜曲紹介＞

• Photograph

去年の榆陵祭で知った曲。ドイツから留学に来ていたパトリックが弾いており、以来ずっと弾いてみたいなと思ってました。

映画を見て、Photograph という題に込められた文脈を知ってから聴くと、また違った印象を受けると思います。

• Humoresque

今年のスプリングコンサートでこの曲を聴き、好きになったので弾いてみます。

雨雨降れ降れ母さんが～♪みたいなメロディだなーって思うの僕だけかな。耳馴染みの良い曲でお気に入りです。気分がルンルンする。

＜映画紹介＞

今回演奏する Photograph が作中で流れる映画『Her』は、2013年のアメリカ映画です。ジャンルはSF/ロマンス。つい最近ようやく見ることができました。

物語の舞台が現代に追いつきつつあり、もっと早く観ておけば、当時と今との感じ方の違いを楽しめたのかもしれません。とはいえた数年前ならあまりピンとこない場面が多かったでしょうから難しいところです。

ぜひ見てね。

＜漫画紹介＞

Humoresque は僕の好きな漫画『青のオーケストラ』に登場します。

☆*:.。. 高校生！部活！青春！ .。.*☆

そんな感じのパワーをもらえる作品です。

ぜひ読んでね。アニメ化もされてるよ。見てね。

＜自己紹介＞

最近のマイブームはトンボ、チョウ、ハエなどを素手で捕獲（&リリークス）することです。「複眼持ちの奴らは回転運動をする物体に対して遠近感が狂うのではないか」という仮説を検証するために彼/彼女らには協力してもらっています。生物科学科生物学専修分野の人間の前に現れる昆虫は実際に気の毒ですね。

間食の習慣がないので、頂き物のお菓子が机の隅に積み上がっているのが最近の悩みです。

4. Alan Menken, Timothy Miles Bindon Rice 「A Whole New World」

文学部 2年 藤原暁希(ふじわらこうき)

＜曲紹介＞

ディズニー映画「アラジン」の主題歌です。

私は海外旅行の帰りの機内で初めてこの映画を鑑賞しました。狭い機内で、長旅で疲れた頭をここまで癒してくれるのかと感動されられました。

「魔法の絨毯」のように、ふわふわゆらゆらと動くメロディーライン。

そして、最初は別々で歌われる、低身分を象徴する低音帯の男性パートと高身分を象徴する高音帯の女性パートが、最後には溶け合って一つの音楽をつくりあげるところが、本来交わらないはずだった2人の運命の成り行きを暗示しているようで大好きです！

みなさんの大切な人を思い浮かべながらお聞きください。

＜自己紹介＞

昨年トルコに家族で旅行してきました。

そのとき、最初は100万ふっかけられた（？）トルコ絨毯を20万で買いたたき、今ではそれが我が家の中を彩っています。そんな大金かけても、空は飛べません…！（泣）

さらに、ミュージックビデオのラスサビで出てくる、世界遺産でもある「パムッカレ」という温泉地にも立ち寄ったので、なにかと私にとっては印象深い曲です。

トルコは珍しく対円高なので、めちゃくちゃおすすめします！

ぜひMVも一度聞いてみてください。（断然英語版推奨！）

5. V.K 「Pure White」

総合理系 1年 青山楓花(あおやまふうか)

<曲紹介>

私がこの曲に出会うきっかけになったのは、Deemo という音ゲー。音ゲーとしての操作感はややお察しだが、とにかく収録曲が良い。私が初めてハマったのは「Wings of piano」という、美しすぎるメロディから数々の Deemo プレイヤーを魅了してきただろう曲。「じゃあその曲弾けよ」という話だが、今オクターブ連打に苦戦してるからちょっと待ってくれ。

今回の Pure White との繋がりは、作曲者が同じというところ。私が Deemo でハマった曲は大体 V.K さんの作品だということに気づいてから、Deemo 収録曲を中心に V.K さんの曲を聴きまくった。Pure White まで好き。私が弾くことでこの曲を穢してしまわないように頑張ります。

<自己紹介>

青山楓花さんと小中が同じで、高校で離れて悲しかったけど、大学でまた一緒になれて嬉しい筆者からの自己紹介です。

彼女の魅力はなんと言っても興味のあるものに対する爆発的な好奇心！他の人が手を出そうとしない少し風変わりな趣味を何個も持っています。大学の好きな教科は中国語らしく、その熱意は一体どこから来るのか…。また自分が興味のない分野に関してはとことんやらないというスタンスを貫いていて(勉強面に関しては持ち前のセンスで何とかなってきたのでしょうか)、筆者からしてみればこの集中力と才能が、将来世界を動かすような形で活かされることを願うばかりです。

そんな好きなことに全力な性格である一方で、筆者がこれをしよう！と言ふとだいたい快く付き合ってくれるという、意外にもノリが良くて、また頼りがいがあるところも彼女の魅力です。

さて今回の曲はある音ゲーの中の 1 曲だそうですが、この曲を私におすすめしてくれる時の顔があまりにキラキラしていたので、きっと皆さんも演奏中、またその後も彼女の魅力にハマることになるでしょう。

6. King Gnu 「SPECIALZ」

総合理系 1年 藤井規碩(ふじいきせき)

<曲紹介>

「SPECIALZ」はアニメ呪術廻戦第2期「渋谷事変」のオープニングです。仮装が間に合いそうにないので曲でハロウィンを持っていきました。曲の方は私なりのピアノアレンジを楽しんでいただけたらと思います。

<自己紹介>

来年は仮装したいです。ピアノの弾き方はパワー型です。ピアノを破壊したら怒られるので服のボタンに注意して弾きます。

7. ヨルシカ 「夜行」

農学部生物資源科学科 2年 渡邊晃心(わたなべあきみ)

<曲紹介>

アルバム『盗作』に収録された、映画「泣きたい私は猫をかぶる」の挿入歌です。静かめなイントロ、A,Bメロと、壮大なサビの対比を頑張って表現しました。普段はなるべく原曲に忠実に耳コピしているのですが、今回のラスさびはオリジナル曲にないような編曲をしてみました。術力の無さから悔しい思いをしてますが今回はどうなりますかね(白目)

<自己紹介>

北大陸上部長距離の伝統的なカススケジューラー。週5部活でも消費できない有り余った体力を活発的に活動に移す。

朝バイターで日本語が通じない外国人の対応もしっかりこなし、カラオケで本当に音感がよく、高音もしっかりでて、難しい曲も難なくこなす。

普段は中距離で練習を積んでいるが、3000m障害にもでてハードルを飛び越え、先日の10000mではペースをしっかり刻み周囲を驚かせた。こんなにも多才で常に新たな出来事を生み出すあきみに今後も目が離せない！

8. シューマン「幻想小曲集 飛翔 op. 12-2」

工学部機械知能工学科 2年 山村早也人(やまむらはやと)

<曲紹介>

力強い冒頭の主題や、次の長調に転じて現れる軽やかな主題が、想像力や幻想力の自由で力強い飛翔を感じさせる。(ピティナピアノ曲事典より)

<自己紹介>

山村早也人と申します。直近で楽しみなことはドラクエ1&2のリメイクが10/30に発売されることです。演奏に関してはとても緊張しいので、たぶんめっちゃ手震えてますが頑張ります。

9. シューマン「子供の情景『トロイメライ』～長調 Op. 15-7」

文学部 3年 名取泰河(なとりたいが)

<曲紹介>

素敵な曲です。

<自己紹介>

3年生になってやっとクラシックを弾きます。緊張しますが頑張ります。皆さんのが眠って素敵なかみを見られるような演奏を目指します。

10. ラヴェル「『クープランの墓』より 5. メヌエット」

工学部環境社会工学科 4年 浜口怜子(はまぐちれいこ)

<曲紹介>

「クープランの墓」は6つの曲からなる組曲で、第一次世界大戦で亡くなったラヴェルの友人たちに捧げられています。

今回は5番目のメヌエットを演奏させていただきます。優雅で気品溢れるメロディーの中に、どこか切なさを感じさせる美しい曲です。

<自己紹介>

こんにちは、ラヴェル大好き芸人の浜口です。

今年はラヴェル生誕150周年ということでいっぱいラヴェル弾くぞ～と

意気込んでいたのですが、気づけば新曲を一つも披露しないまま年末が迫ってきてしまったので、慌てて滑り込みエントリーしました。
ラヴェルの魅力を少しでも感じていただけたら幸いです。

11. バッハ 「パルティータ 第1番 変ロ長調『プレリュード』」 歯学部 5年 青山翔(あおやましよう)

＜曲紹介＞

パルティータは主にクラヴィーア（チェンバロやパイプオルガンなど、現代でいうピアノに相当する鍵盤楽器）のための6つの組曲からなる作品集です。パルティータ第1番は、プレリュード、アルマンド、クーラント、サラバンド、メヌエット、ジーグから構成されます。今回は抜粋でプレリュードのみを演奏します。調性や転調を意識して弾きたいです。

＜自己紹介＞

今年はショパンが多めでしたが、雑食なので色々弾きます。
インスタやってます(@blue_fly22)、気軽にフォロリク送つといて下さい

12. バッハ 「パルティータ 5番」 農学部生物機能化学科 2年 宮入汐里(みやいりしおり)

＜曲紹介＞

バッハのパルティータはフランス組曲、イギリス組曲と並ぶバッハの組曲集の集大成ともいえる作品です。導入楽章(前奏曲)と様々な形式のバロック舞曲が含まれており、5番は7つの楽章から構成されています。今回演奏するのは前奏曲にあたるプレアンブルムと終曲にあたるジーグです。プレリュードは3拍子で快活な雰囲気で、ジーグは3声のフーガ形式です。ジーグは中期フランス語ではしゃぐという意味の *giguer* が語源であり、即興的な雰囲気になっています。

＜自己紹介＞

最近よくバッハの曲を弾いている気がします。ロマン派、近現代と比べて譜読みは楽なんですが暗譜するとなると大変ですね…

13. ショパン「夜想曲 第2番 変ホ長調 Op. 9-2」

法科大学院 2年 青木惇(あおきじゅん)

＜曲紹介＞

この曲は1830-31年頃ショパンによって手掛けられた曲です。夜想曲というジャンルはアイルランドの作曲家ジョンフィールドによって生み出されたもので、音の旋律で夜を表現した楽曲を指します。今回演奏する曲はロンド形式という同じ旋律を繰り返し表現する形式で作曲されています。本曲はショパンノクターンの中でとりわけ有名な曲であり、皆様も日常生活のなかで一度は耳にしたことがあると思います。夜の静寂、物悲しさが多分に表現された曲です。是非お楽しみください。

＜自己紹介＞

初めまして お忙しいなかオータムコンサートにご来場くださりありがとうございます。

今回演奏する曲はピアノクラブへ入会する際に練習した思い出のある曲です。(勿論ピアノが弾けなくても入会できます)普段は専らヴァイオリンを弾くのみで、ピアノは超がつく初心者です。そして、発表会に出演するのも今回が初めてなので緊張しています。11月の結果が判明するまでの間、時間ができたので今回の発表会に参加することができました。

関係者の皆様、貴重な機会をいただきありがとうございます。

さて、私から皆様に問題です。調律されたピアノの調律を無断で意図的に狂わせた場合一般的に何罪が成立するでしょうか? (261条)

14. 坂本龍一「energy flow」

医学部医学科 3年 棟方瑠南(むなかたるな)

＜曲紹介＞

energy flowは、1999年、三共「リゲインEB錠」のCMに使用された曲です。バブルが弾け、不安と疲れが漂った世紀末に「癒し」を与え、一躍社会現象を巻き起こし、ついには流行語大賞に「癒し」という言葉はベストテン入りを果たすに至ったのです。

時に力強く、時に穏やかに、時に静かに、「力の循環」という、抽象的な概念がピアノの音色で的確に表現されています。ふと疲れた時、この曲を聴くと、一歩立ち止まり、肩の力を抜くことの大切さが感じられます。力

の循環を表現できるように頑張ります。

<自己紹介>

バレリーナこと、棟方瑠南ちゃんを紹介します。

彼女を語り始めると作り話のようなエピソードばかりになってしまいます
が。

1. バレエ留学でロシアに行き、その後カザフスタンでもプロとして踊っていた
2. 帰国後、わずか1年の受験勉強で北大に入学
3. 大学2年の進級時に超狭き門と言われる医学部へ
4. 絵の才能まで発揮し個展を開催
5. 英語・ロシア語・日本語のトリリンガル
6. フレンチ居酒屋とかいうなんだかお洒落なところでバイト中

どうも常人には理解できない次元を生きているようですが、実際話してみるとピアノクラブ員らしい変人適性も垣間見えます。

1. お酒が大好きで酔うと饒舌になる
2. 根は大阪人なのでめっちゃ喋ってくれる
3. 峠に行くだけの謎ドライブを最高に楽しんでくれた(はず)

とにかく話しやすくて気遣いのできるハイスペック部員なので話す機会
があればぜひ！

ピアノ以外の情報量過多ですが、ピアノのコンサートにもよく出ている
バケモノです。

今回の演奏も楽しみですね♪

15. すぎやまこういち「ドラゴンクエスト5より『大魔王』」
理学院 2年 笹木元太(ささきげんた)

＜曲紹介＞

今回演奏する「大魔王」はドラゴンクエスト5のラスボス、ミルドラースとの戦いの時に流れるbgmです。ミルドラースは主人公の母を誘拐し、魔界と人間界を繋ぐ門を開けさせて人間界を侵略しようとした魔物です。この曲は中間にフーガを挟む3つのパートからなる曲です。フーガの前後のパートは教会旋法(ドリア旋法)を用いた異国情緒と浮遊感の感じられるメロディがベースとなっている点が特徴的です。一方で中間部のフーガはアーノルド・シェーンベルクが発見した12音技法が使われたフーガが特徴的です。12音技法とは「一度出てきた音は12音すべてが出現するまで再度使用できない」という“縛り”的ことです。例えば一度c音を使用したら残りの11音(cis～hまでの黒鍵5本白鍵6本)が出てくるまでc音は再使用することができません。この技法を用いると全ての音が出てくる頻度が等しくなり、結果的に無調の音楽となります。調とは12音のうちどの音が出やすいか、すなわち“頻度の偏在”によってある程度説明ができるため、この“頻度”を完全に等しくした十二音技法によって奏でられる音楽は無調の音楽となります。

シェーンベルクはリストの無調のパガテルにより始まった西洋音楽の「無調音楽への標榜」に唯一無二のアンサーを出し、それまでのクラシックを総括しました。すなわち、総括と同時に開かれた現代の前衛的な音楽への道はシェーンベルクが示したものだったと言えます。また、曖昧と言われる近代と現代の境目をこの十二音技法に置く人もいるようです。

この「大魔王」はシェーンベルクが編み出した12音技法、伝統的なフーガの技法、教会旋法(ドリア旋法)がかけ合わさった現代でないとできない音楽、すなわち「現代音楽」なのです。

ドラクエのbgmを作曲した故すぎやまこういち氏はクラシックへの造詣が深く、他の曲でも古典派から近現代までのクラシックの技法を惜しみなくドラクエbgmにつぎ込んでいます。例えば、「大魔王」のフーガの対旋律には主旋律の逆行形が用いられていて、残り2つの旋律はフーガが始まる直前に出てきたモチーフとその逆行形になっているところなどにすぎやまこういちのクラシックへの造形の深さが現れていると感じます。

さて、今回この曲を選んだのは今年卒業するということで過去にピアノ

クラブで弾いた曲や今年弾く予定の曲を見た時に「まだ現代曲をやってなかつたなあ...」と感じたためです。誰かの近現代を聞くきっかけを作ればなあと思いこの曲を選びました。

「近現代は難しくて聴き方がわからない！」という方はまずはドラクエbgmを聴き漁ってみるのをお勧めします。ここで色々な技法が耳に馴染んだところで近現代の作品に戻ると「あ、ドラクエで聞いたやつだ！」と今までになかった発見があり近現代音楽を聴くのが楽しくなるかもしれません。（ドラクエbgmはオーケストラを先に作曲してからbgm用に本人が編曲を行なっているので全て東京交響楽団による録音が存在します）

P. S. ピアンカ派の人に対する薬はありません。

P. P. S. 最盛期から5キロ痩せました。ミルドラースではなくエスタークを目指していきたいですね。

＜他己紹介＞

ピアノクラブの大御所、笹木元太の事は皆さんよくご存知かとは思いますが、改めて紹介させていただきます。

彼は埼玉出身で高校卒業までを埼玉で過ごし初めは北大とは別の大学に進学しました。筆者は訳あって当時から彼のことを知っており、「授業に全然来ないな。仮面浪人でもやってるんか？」と思っていましたが、授業に来なくても学科の勉強はやっていたようで編入試験で北大の数学科に入学しました。数学で培ったと思われる論理的な思考に加えて、それを言語化する能力が高いのも相まってTwitterでは、見知らぬ人と激論を交わしていたのが印象に残っています。

もちろん、彼の論理的な思考はピアノにも活かされています。拍の取り方、ペダリング、強弱などを考えて演奏しており、ベートーヴェンを弾いた時には特に音価に気を遣っていたように思います。彼がよく計算して演奏しているのを見ると筆者は脳筋でピアノを弾く癖を何とかしないとなーと思わされます。

また、彼の得意曲である英ポロ、アルカンのグランドソナタやラームスのソナタといった重厚な曲からバラード3番や愛の夢第3番といった甘美な曲までキャラクターを変えながらクオリティが高い演奏をしていて凄いなと思います。

今回は何の曲を弾くのか分かりませんが楽しみにしてます。（何となくドラクエの曲と予想しておきます）

16. 永井権太 岩田恭明 David Wise 坂本英城「ニンテンドーメドレー」

医学部保健学科 3年 吉田彩花(よしだあやか)

工学院 1年 坂野遼太郎(ばんのりょうたろう)

<曲紹介>

メドレーで弾きます。順番はまだ決めてません。本番をお楽しみに。

1. New Super Mario Bros. wii 地上 bgm

昨年、マリオのコスプレしといてマリオ弾かなかったので、今回こそ弾きます。"bah bah"でお馴染みの、アノ曲です。近藤浩治さんの曲って、独特だけどキャッチャーなメロディが特徴ですよね。楽しく弾きます。

2. あつまれどうぶつの森 メインテーマ

曲名は「みんなあつまれ」だそうです。あつ森でみんな集まるのってラジオ体操のイメージがあるんですが、何するんですかね。とたけけのライブかな？スローテンポながらも和声の変化に富む曲です。まったく弾きます。

3. DK island swing

ゲーム音楽界に革命を起こしたとも言われる、ドンキーコングを代表する曲です。DK 新作発売おめでとう！前半と後半で曲調がガラッと変わるのが特徴的なんですが、今回弾くのは有名な前半パートだけになるかも。ノリノリで弾きます。

4. 灯火の星

switch 発売の「スマブラ SP」のメインテーマです。スマブラはタイトルごとにテーマが大きく変わるのが特徴ですね。今回はヒーローソングっぽい感じですかね。日本語歌詞もついてますが、割愛。ピアニストの下スマはピアノのデカい蓋でガーン！！です。壮大に弾きます。

<自己紹介>

AI に任せます。意外と精度よかつたりして。

坂野遼太郎

表

りよたろ、Xハンドルネーム@milkandchris。B4（大学4年生）で、工学部

に所属し、機械工学と情報工学を専攻する学生。日常のつぶやきや勉強の合間の軽いメモを投稿するタイプで、フォロワー数は控えめながら、親しみやすい雰囲気が魅力。ハンドルネームの由来は、かつて飼っていた2匹のポメラニアン「ミルク」と「クリス」にちなんでおり、動物好きの一面を覗かせる。投稿内容はカジュアルで、音楽、アニメ、ゲームなどの趣味を交えつつ、ユーモアたっぷりの明るいトーンが特徴。フォロワーとのやり取りもフレンドリーで、日常の小さな発見を共有するのが好き。将来はエンジニアとして活躍する夢を抱きながら、SNSをリラックス空間にしている。

裏

@XXXXXXXは、2024年8月頃からXで活動する10代後半～20代前半の日本人ユーザーで、学生やインターン生としての日常を綴る内省的なアカウントです。プロフィールは空欄、フォロワー0人で、投稿は自己否定やメンタルヘルスの葛藤（「XXXX」「XXXX」）、低気圧への不満、ピアノクラブやインターンの悩みなど、率直な感情の吐露が中心。ゲーム（「スイッチ2誕プレ」）や音楽、知的な話題（デジャヴの説明）も垣間見え、若者らしい感情の起伏が特徴です。交流はほぼなく、個人的な日記として機能。現代の若者のメンタルヘルスや孤独を映し出す存在で、SNSでの本音表現の典型例といえます。

吉田彩花

表

@choco_late3190、愛称あやかす。北海道大学医学部保健学科放射線技術科学専攻のB3在籍生（今年も来年も）。学業と塾講師のバイトに追われ（最近はもうひとつ掛け持ちしているそう）、睡眠不足を嘆くも、ピアノが心の支え。日常のつぶやきは、財布紛失のドタバタや、バイト漬けのスケジュール管理の苦労、深夜までの勉強疲れが中心。HPC（北大ピアノクラブ）34期に所属している。塾では生徒の奇抜な質問に笑い、小4の宿題に苦戦し、風邪をうつされたりする母性あふれるエピソードが満載。北海道出身で、地元愛が強い。料理好きだが、レシピ無視で赤ワインを即席調達する自由奔放さも。恋愛では誠実さを重視し、約束の重要性を説く一方、誕生日を家族と彼氏に忘れられ「存在感ゼロ」と冗談にしつつ、笑いに変える。指を骨折し、未来の実習先の病院でX線を撮られるミスを笑いに変えるユーモアの持ち主。総じて、努力家で情熱的、ちょっと不器用な20代女子大生。

裏

「どこにでもいる女子大生」を自称する@■■は、大学生活、バイト、恋愛の喜怒哀楽を日本語でガンガンつぶやくXアカウント。感情全開の「ひとり言」スタイルが特徴。バイト先の「■■客」や「クソ■■」や「ジ■イ」にブチギレ（「まじで世の中の■■さんみんな■ね！」）、■氏の使えなさにイライラ（「■能すぎて■■！」）、■■日祝いのL○○Eに対して■■するの■■いはヤバすぎるやろ、などと吠える。■族やお金のことや、モ■ハ■っぽい人への苛立ちも。Xは彼女のストレス発散の聖地！最近は■ン■ル■■スの闇が垣間見えるが、次の予定を心の支えに「とりあえず■きる」と踏ん張る姿に人間味。フォロワーゼロでもお構いなし、自由で生々しい投稿はまるで公開日記。表向きは「どこにでもいる」普通の女子大生ですが、ポストからはパワフルな本音が溢れ出るタイプ。ストレスフルな日常を吐き出すことで自分を保つてる感じで、共感を呼ぶかも？ただ、フォロワーゼロの隠れ家アカウントのようなので、覗き見はほどほどに…。

17. 齋藤圭土「恋文」

農学部生物機能化学科 2年 宮入汐里(みやいりしおり)

農学部生物資源科学科 2年 渡邊晃心(わたなべあきみ)

＜曲紹介＞

兄と1台4手連弾ユニット「レ・フレール」として活動している齋藤圭土さんの曲です。筆者渡邊が彼と英国ロイヤル・オペラ・ハウスのコンサートマスター、ヴァスコ・ヴァッシリエフのユニットKEITO & VASKO "Viano"版の恋文を聞いていつか絶対セッションすると決めてはや2年。機会がひょっこりあらわれたので、ピアノソロの楽譜を元に、バイオリンと伴奏を編曲しました。

＜自己紹介＞

渡邊の方

あきみくんは農学部生物資源科学科の2年生です。あきみくんはいつも忙しそうにしています。先日のフェブラリーコンサートではコンサート当日に帰省するという驚くべきスケジュールをこなしていました。また、サークルを掛け持ちしながらピアノクラブの部長もつとめてくれていて本当

に頭が上がりません…！彼に休日というものが存在しているのか少し心配になりますね…

さて、そんなあきみくんに今回はバイオリンで誘ってもらいました。筆者も一生懸命頑張ります！

宮入の方

紹介しよう！宮入汐里は農学部生物機能化学科の2年生。オケで忙しそうにしながら弊クラブでも運営をこなす凄い人。実は筆者と学籍番号が連番で、基礎クラスも同じだった。最初の自己紹介でピアノを弾くと言っていて、ピアノクラブ入るかな～とか思っていたらやっぱりいた。その腕はと言うと、めちゃくちゃ上手い。個人的に弊クラブで1番上手いんではないかと思っている。（この曲ではピアノ弾かないのでは？！）

昨年の春合宿にて、彼女にこの曲をバイオリンで合わせないかとお願いしてみたところ、快諾してくれた。まじでありがとう。自身初の試みであり結構不安だが、きっと彼女の演奏は問題ない。私も頑張るから全力で最高の演奏を楽しもう！

～今後のコンサート～

♪. ウィンターコンサート

日時：12月20日(土) 開場開演：未定
ルーテルホール

♪. フェブラリーコンサート

日時：1月30日(土) 開場開演：未定
芸術の森 アートホール



HOKUDAI PIANO CLUB

Mail : hokudaipc2025@gmail.com

Instagram : @hokudai_piano

X(旧 Twitter) : @hokudai_piano

Website : <https://university.secret.jp/>